

中国雲南省麗江市における無形文化遺産と観光開発 の相互影響性に関する現地調査研究

A Field Research of the Interaction between Intangible Cultural Heritage and Tourism
Development in Lijiang, Yunnan Province, China

蔣蕾*

Jiang, Lei

本研究では無形文化遺産の保護・伝承と観光開発との相互影響性における課題を中国雲南省麗江市にインタビュー調査とアンケート調査を実施した上で考察した。この考察により、無形文化遺産の保護・伝承と観光開発の間には良好と不良な相互影響性が存在することを明らかにした。また、インセンティブ制度、規制措置、産業政策、ステークホルダー間の連携・協調方策等の観点からインプリケーションを考察した。

キーワード：麗江、観光開発、文化

1. 目的

近年、観光産業は国あるいは地域の成長戦略の一つに位置づけられている。とくに発展の遅い国・地域の多くで、観光ビジネスは地域振興の手段として注目されている。しかし、観光産業の発展は観光資源としての文化を促進もするが、破壊ももたらす可能性がある。文化は観光産業の発展に促進できるが、制約する場合もある。無形文化遺産の保護・伝承と観光開発の間にも、大きく分け良好と不良の二つの相互影響性が存在すると考えられる。したがって、良好な相互影響性とするためのインプリケーションを明らかにできれば、麗江のような文化を重要な観光資源としている地域の観光開発と文化の伝承に役立てることができるものと考えられる。

本研究では、インタビュー調査とアンケート調査の現地調査より、無形文化遺産(トンパ文化ⁱⁱ)を持つ中国雲南省麗江市における良好な相互影響性を創造するための示唆を見出すことが目的である。

2. 調査の概要

2.1 インタビュー調査の概要

本調査は2015年8月27日～9月2日の間に、麗江市における無形文化遺産と観光開発との相互影響性について、麗江の麗江市教育局、麗江市旅遊局、トンパ文化研究院、麗江市古城区文化広播新聞出版局と麗江玉水寨旅遊集団の五つの機関をインタビューした。その結果を示したのが表—1である。

*北海商科大学大学院商科研究科修士課程

表一 1 インタビュー調査の概要

機関	調査日	対応者	調査質問項目
麗江市教育局	8月27日	基礎教科科長：趙文 基礎教科課：和白恩	<ul style="list-style-type: none"> ・無形文化遺産の保護・伝承と観光開発との関係 ・無形文化遺産の保護・伝承と観光開発間の問題 ・無形文化遺産の保護・伝承と観光開発両立可能性と両立ための措置 ・トンパ文化の役割 ・利益関係者の関係 ・トンパ文化伝承の現状 ・トンパ文化普及の困難性
麗江市旅遊局	8月27日	旅遊局調研員：王建鋼 旅遊局事務室主任：王李輝 旅遊協会秘書長：劉文強	<ul style="list-style-type: none"> ・無形文化遺産の保護・伝承と観光開発との関係 ・無形文化遺産の保護・伝承と観光開発間の問題 ・無形文化遺産の保護・伝承と観光開発両立可能性と両立ための措置 ・トンパ文化の役割 ・利益関係者の関係 ・トンパ文化の伝承にとって観光産業の役割 ・今後観光産業発展の計画
トンパ文化研究院	8月28日	院長：李德静	<ul style="list-style-type: none"> ・無形文化遺産の保護・伝承と観光開発との関係 ・無形文化遺産の保護・伝承と観光開発間の問題 ・無形文化遺産の保護・伝承と観光開発両立可能性と両立ための措置 ・トンパ文化の役割 ・利益関係者の関係 ・トンパ文化伝承の現状 ・トンパ文化普及の困難性 ・観光産業の発展に伴うトンパ文化伝承の変化
麗江市古城区文化広播新聞出版局	9月1日	局長：王建南 トンパ紙坊社長：奚紹芬 麗江市古城区無形文化遺産保護管理センター主任：陳主任	<ul style="list-style-type: none"> ・無形文化遺産の保護・伝承と観光開発との関係 ・無形文化遺産の保護・伝承と観光開発間の問題 ・無形文化遺産の保護・伝承と観光開発両立可能性と両立ための措置 ・トンパ文化の役割 ・利益関係者の関係 ・トンパ文化の伝承にとっての観光産業の役割
麗江玉水寨旅遊集団	9月2日	副社長：姜麗慶	<ul style="list-style-type: none"> ・無形文化遺産の保護・伝承と観光開発との関係 ・無形文化遺産の保護・伝承と観光開発間の問題 ・無形文化遺産の保護・伝承と観光開発両立可能性と両立ための措置 ・トンパ文化の役割 ・利益関係者の関係 ・トンパ文化の伝承にとっての観光産業の役割 ・観光産業の発展に伴うトンパ文化伝承の変化

3. 調査結果

3.1 インタビュー調査の結果

表—3 インタビュー調査の結果（主要項目）

	トンパ文字伝承と観光開発との相互影響性についての基本的認識	相互影響性における問題点の認識	改善措置（予定を含む）
教育局	無形文化遺産と観光開発はお互いに補い合い、促進する関係である。まず、麗江は国際観光都市として、民族文化及び少数民族が築きあげてきた人文社会景観は自然景色と同じような重要な観光資源である。そして、環境の保護と文化の伝承はまた持続可能な観光産業に効果がある。トンパ文化は麗江の観光産業に大切な役割をこなう。	トンパ文化伝承における問題：・伝統文化の認識問題・資金投入問題・トンパ文化利用の規範性問題・教育の継続性問題。	①農村学校でバイリンガル教育の実施 ②都市学校でトンパ芸術の伝承 ③芸術イベント ④教材、CDの作成 ⑤宣伝教育活動。
旅游局	観光開発のため、トンパ文字を始めるとするトンパ文化の保護・伝承の再認識を呼び起こした。しかも、観光開発を通じてトンパ文化の経済価値を実現した。	・文化の真实性。 ・外来文化の影響。 ・文化の悪用（トンパ文字の間違った利用など） ・自然環境の破壊。	①トンパ伝承人と民族芸術人の保護 ②観光客がトンパ文化の体験③古城の部屋を安い家賃でトンパ伝承人に貸し出す④観光収入を文化伝承に充当（古城保護費）
トンパ文化研究院	麗江観光産業を発展する前に、無形文化遺産の保護はすでに始まった、そのため、麗江観光産業を開発した際、トンパ文化は有効な観光資源になっている。	・トンパ文化の悪用。 ・伝承人の経済収入問題。 ・伝承基地の分散。	①トンパ文化利用の監督。 ②専門家グループの成立。 ③消滅可能性なトンパ文化の研究と保護。 ④関連機関同士の協力（予定）。
文芸局	トンパ文化は観光文化産業として市場に参与すべきである。合理的な利用は有効な保護方式。	・文化の真实性。 ・外来文化の影響。 ・文化の悪用（トンパ文字の間違った利用など） ・伝承人の減少。 ・公的資金の不足問題。 ・政策の具体化における問題。	①ビジネスと保護の両立。 ②文化産業、公共文化の拡大。 ③伝承人の保護と支持。 ④伝統文化の教育。 ⑤基金の設立。
玉水寨旅遊集団	観光開発する前、トンパ文化は少数民族の宝として、海外内の学者の注目をされた。観光開発後、トンパ文化の使用を広めた。観光開発を始めた時、トンパ文化と観光産業と連結する産業がなかったので、トンパ文化の悪用などの問題が出た。しかし、政府機関と企業の努力のため、現在トンパ文字の観光市場はすでに改善された。	・トンパ文化の悪用。 ・自然環境の破壊。	①「トンパ法会（祭り）」を開催する。 ②「麗江トンパ文化伝承協会」の設立。 ③伝承基地のインフラ整備と資金支持。 ④トンパ身分認証制度の設立。 ⑤現代技術によるトンパ文化の保護と伝播。

教育局の主張は、無形文化遺産と観光開発の関係はお互いに補い合い、促進するということがあった。その理由は、トンパ文化が麗江観光産業の核であり、トンパ文化を伝承・保護することこそが麗江観光産業を持続的に発展させる要素のひとつである、また、トンパ文化は民族的、特色的な観光資源として、麗江観光産業の発展を促進するという意見であった。しかし、観光産業の発展とともに、数多くの外来人と外来文化が麗江に入った。これは必ず麗江の自然環境と伝承文化に悪い影響がある。そのため、教育局は観光産業を通じてトンパ文化を保護することは可能であるけれども、まだ研究しなければならない問題があるとの指摘であった。

トンパ文化研究院は教育局と同じく、トンパ文化は麗江観光産業の核と考えている。観光開発以前に既にトンパ文化の保護事業は始まっていた。また、トンパ文化は観光産業に役立つうえに、文化産業と新産業にも促進するということがあった。しかしながら、トンパ文化を利用して、観光ビジネスをする人はお金をもうけるが、伝承人はまだ貧しい。利益のため、トンパ文化を悪用する人も増加しているとの指摘であった。それらの問題に対して、トンパ研究院は積極的にトンパ文化の使用を監督している。さらに、専門家グループを成立して、トンパ文字を扱う商人に指導したり、消滅に瀕するトンパ文化に対して緊急的な措置をとっている。さらに、トンパ文化研究院は麗江市政府に対し、取り締まり執行部門と協力してトンパ文化の使用を監督するための提案を行った。

旅遊局においては、観光開発はトンパ文化の経済価値を実現し、トンパ文化を保護する最も有効な方法である。トンパ文化は麗江観光資源の中の重要な一つであるという意見であった。しかし、伝統文化にとって合理的な開発は伝承・保護を促進するが、過度な開発はトンパ文字・典籍の保護・伝承の低下や真正性の劣化を引き起こす。それに、観光客と外来企業は麗江を守る意識が低いので、自然環境を破壊した場合もある。旅遊局は観光収入を利用して、麗江の交通・環境など各種のインフラ整備を改善している。また、観光客に一人 80 元の「古城保護費」を徴収し、そのお金を古城の保護・修復、トンパ文化の保護・伝承に投入している。

麗江市古城区文化広播新聞出版局のインタビューでは、麗江トンパ紙坊社長と麗江市古城区無形文化遺産保護管理センターの主任から意見を伺った。トンパ紙坊の社長は、トンパ文化は市場を利用して広められるので、一層市場を通じて広めるべきであるとの指摘であった。トンパ紙坊はトンパ文化を中心とし、トンパ紙を媒介として、はがき、名刺、飾り物など 164 種類の製品を作り、トンパ文化を宣伝しながら、ビジネスを行っている。麗江市古城区無形文化遺産保護管理センターの主任は観光産業の発展とトンパ文化の伝承・保護の両立可能性は低いという意見であった。理由は、観光客と外来商人は消費することが基本的立場であるので、彼らを通じてトンパ文字を伝承する可能性は低い。そのため、伝承はやはり政府、民間、当地民衆に依存しなければならないとの指摘であった。また、現代化、都市化が進むに従って伝統的な儀式などの回復は難しいし、観光産業の発展とともに各利益関係者の関係も複雑になっており、民族の多様性から、政策を実現させることは比較的難しいという指摘であった。

玉水寨旅遊集団は無形文化遺産の伝承・保護と観光開発とを合理的に結合しようとする例である。玉水寨旅遊集団は「トンパを感謝する、自然を保護する」という理念を持ち、地域の経済発展は「生態観光 (エコツーリズム)」ばかりではなく、さらに「文化観光」を加えることでより持続的になるという意見であった。玉水寨旅遊集団は観光収入の一部分をトンパの育成、トンパ基地の設立、トンパ保護基金の設立、トンパ法会 (祭祀) の開催、トンパ文化伝承協会の創立、ト

ンパへの寄付、政府との協力など一連のトンパ伝承・保護事業に投入している。そうしたトンパ文化の有効活用により、観光収益も得られ、良好な循環になっている。

3.2 アンケート調査の結果

表—4 トンパ文化の伝承と保護および観光開発との関係性

問題	高校生	大 学 生	事業者
現代の生活の中で、トンパ文字の保護と伝承は重要だと思いますか？	100.0%	96.6%	89.3%
文化伝承と観光開発はお互いに促進できると思いますか？	96.7%	93.1%	96.4%
文化伝承と観光産業の発展のため、トンパ文字の伝承は必要だと思いますか？	89.7%	89.7%	100.0%

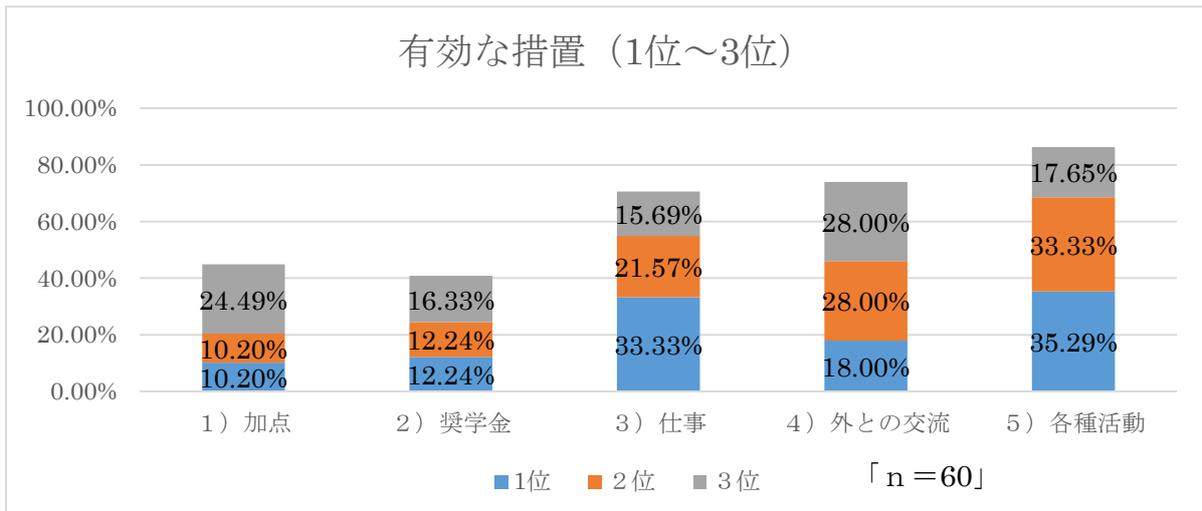
表—5 トンパ文化の保護・伝承に関する事業と教育についての認識

問題	よく知っている	あまり知らない	まったく知らない
トンパ文化を保護・伝承する事業を政府あるいは企業が実施していることを知っていますか？	高校生：27% 大学生：13% 事業者：14%	高校生：43% 大学生：77% 事業者：61%	高校生：30% 大学生：10% 事業者：21%
トンパ文化を学ぶクラスがあるということを知っていますか？	高校生：23% 大学生：72% 事業者：36%	高校生：27% 大学生：23% 事業者：25%	高校生：50% 大学生：3% 事業者：35%

注：事業者の回答が100%にならないのは未回答が存在するためである。

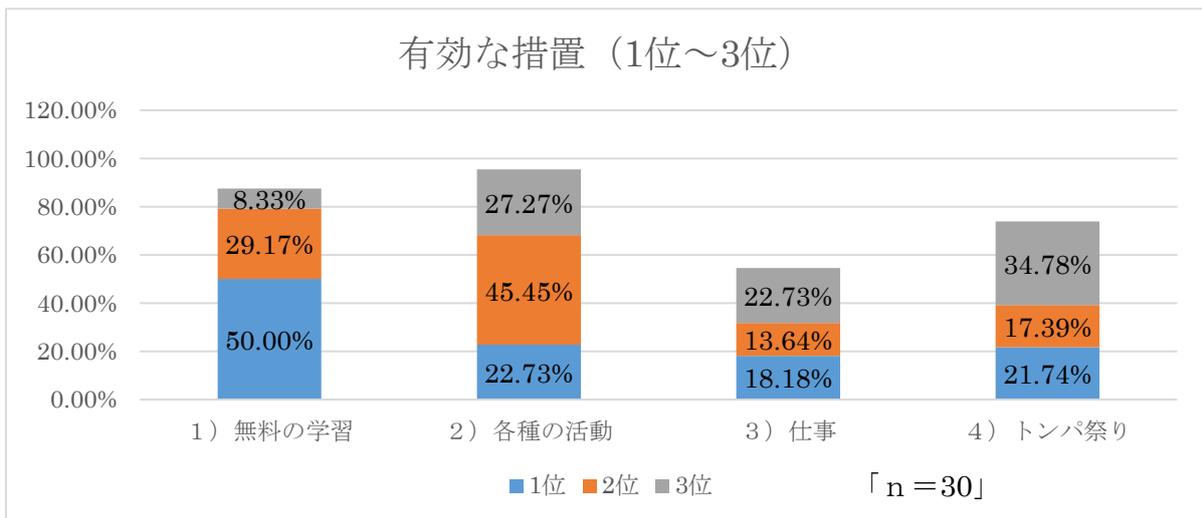
表—4 より、現代の生活においても、トンパ文化の伝承と保護が重要だと思う平均割合が92.95%を占めている。さらに、文化伝承と観光開発がお互いに促進できると思う割合は90%以上を占めている。文化伝承と観光産業の発展のため、トンパ文字の伝承は必要かどうかについては、事業者は全員必要だと考え、雲南大学旅遊文化学院大学生と麗江市民族中等專業学校の学生も約90%と高くなっている。それらより、高校生、大学生、事業者のいずれもトンパ文化の伝承と保護が非常に重要だと認識している。また、無形文化遺産と観光開発の間には相互影響性があると考えていることがわかった。

しかし、表—5によると、トンパ文化を学ぶクラスがあることと政府あるいは企業によるトンパ文化を保護・伝承に関する事業を実施していることを知っている割合が低い。それより、トンパ文化保護・伝承に関する事業についての広告宣伝がまだ不足しているということが明らかである。



図一 1 文化伝承を推進するために有効な措置 (学生)

注：1) 学校での試験への加点 2) 奨学金の獲得 3) 仕事の優先的斡旋 4) 麗江の外とのトンパ文字による交流 5) 社団の設立による各種活動



図一 2 文化伝承を推進するために有効な措置 (事業者)

注：1) トンパ文字の学習 (無料) 2) 社団の設立による各種活動 3) 仕事の優先的斡旋 4) トンパ祭りへの優先的参加

図一 1 によると、学生に関しては「5) 社団の設立による各種活動」が最も有効 (35%) であることがわかる。次いで、「3) 仕事の優先的斡旋」が 33%を占める。これより、学生にとっては各種活動が最も関心が高く、トンパ文化伝承への有効なインセンティブ措置であることがわかる。

図一 2 より、事業者に関しては、無料の勉強が文化伝承の措置において最も重要だという結果となっている。また、社団の設立による各種活動は、上 3 位までを累積して考えると、最も関心があるという結果となっている。このように、社団の設立による各種活動を積極的に行うことが必要と考えられる。

4. 考察

現地インタビュー調査と現地アンケート調査により、行政・企業・市民・学生も無形文化遺産（トンパ文化）の伝承・保護と麗江の観光開発とは緊密の関係があると考えている。それぞれの立場により、トンパ文化の伝承と観光産業の発展との優先度は違うけれども、両立的に発展させることについてはおおむね一致している。以下、これらの調査結果をもとに、麗江における文化伝承と観光開発の良好な相互影響性を確保しているための示唆を考察し、抽出することにした。

① インセンティブ制度

現在、豊かな人生を過ごそうと考えるならばあえてトンパ文字・典籍を学習するよりも漢語（普通語）を通じて現代知識を蓄積しようとするのは当然の行動である。観光産業の発展と都市化の進行は一層多くの外来文化、外来人が麗江に流入させ、こうした状況をさらに加速させている。麗江市教育局もトンパ文化の教育は幼稚園と小学校まではほぼ普及しているものの、中学校以後になると、普及の継続性は低下していくと指摘している。そのため、トンパ文字・典籍の保護・伝承の強化システムを構築するためには、その活用が実際の生活や人生において有意義であることを保障する措置が政府を中心にインセンティブ方策として制度化されていなければならない。アンケート調査より、学生には「社団の設立による各種活動」が一番有効な措置と思われるが、事業者は無料の勉強が一番効果的で、各種活動が二番目を占める。しかし、現在、伝承人とトンパへの寄付は少なく、学生や事業者向けのインセンティブ制度はまだ十分でないと考えられる。また、アンケート調査からは、トンパ文化保護・伝承に関する事業についての宣伝はまだ不足していることが示されている。そのため、政府の関連機関と企業はインセンティブ制度の設立と宣伝措置に力を入らなければならない。

② 規制措置

合理的な観光開発とトンパ文化の利用は政府による規制も重要である。インタビュー調査より、観光産業の発展に従って、トンパ文化の悪用、外来文化の影響、自然環境の破壊、伝承人の減少、公的資金の不足等の問題が起こった。これらの問題を解決するためには持続的な観光開発に向けて政府が規制措置を厳しく実行していくことが重要である。現在、トンパ文化の悪用について、トンパ文化研究院は観光商品や看板などのトンパ文字を正しく使っているかどうかを審査し、トンパ文字の使い方を商人に指導している。また、「関連機関を協力してトンパ文字の使用規範性を守ること」と政府に提案した。麗江市古城区文化広播新聞出版局もトンパ文字を正確に使用することを監督している。玉水寨旅遊集団は「偽トンパ」を防ぐため、麗江市政府にアドバイスをし、「トンパ学位評定」と「トンパ身分認証」制度を作り、麗江市玉竜県政府とトンパ伝承院から認証したトンパに証書を授与している。政府はトンパ伝承する企業や人への援助として、古城の店舗（政府所有）を安い家賃で貸している。また、各機関の努力により、現在、観光商品や看板などにおいてトンパ文字を誤使用される現象は減少している。しかし、麗江はまだ「黒ガイド」（無資格のガイドなど）、「黒観光バス」（無資格の観光用バス、乗用車など）、タクシーメーターの未使用、商品価格の値上げ、古城の治安問題などの問題があるため、国家の旅遊局による取締まりが必要である。こうした、各種の規制措置を検討し、実施していく必要がある。

③ 産業政策

観光産業は麗江の支柱産業で、麗江の経済の発展を促進している。けれども、麗江市古城区文化広播新聞出版局は「観光産業はまちづくりに有効な方法であるが、観光産業のみしかない町は

危ない」との指摘があった。すなわち、観光産業の発展だけではなく、地元の固有性を重視し、観光ビジネスを活用しつつ、第一次、第二次産業など他産業の発展も重要である。

インタビュー調査により、旅遊局は「観光産業が農業に貢献する」という理念を持ち、観光スポット周りの農民に毎月700円の補助金を援助している。玉水寨旅遊集団は「生態観光（エコツーリズム）」をつくり、企業レストランの食材は全部地元から調達した。また、トンパ文化に関する文化産業の発展も推進するため、さまざまな優秀な企業を誘致して効果をあげている。要するに、「地域内に資金を呼び込む力」と「地域が自ら生活の糧を稼ぎ出せる力」を強く推進している。また雇用も創出している^v（中村 2015）。旅遊局からは、「麗江においては、直接観光産業に関わる人数は4万人、間接的に関わる人数は10万人あまりもいる」、「そのなかで、大きな割合は当地居民であり、そして、経済発展とともに、古城に戻って自分で経営する当地居民が増加しつつある」との言及があった。また、トンパ紙坊もトンパ紙を中心としての産業を発展させている。『雲南日報』^{vi}においても、麗江の産業システムは改善していることが指摘されている。それは第一次産業、第二次産業と第三次産業の改善だけではなく、各産業内部の調整も進んでいる。例えば、観光産業はリゾート地の形成に向けて、高級ホテル、ゴルフ場などを整備しており、農業においては果物、野菜と漢方薬を中心とした発展が見られる。

④ ステークホルダー間の連携

麗江において、トンパ文化の伝承と観光開発には緊密の関係があるため、文化保護と観光産業に関わるステークホルダー間の連携が必要になっている。インタビュー調査によると、トンパ紙坊はトンパ文化研究院と協力して『トンパ經典原献』を作成しているとともに、麗江市古城区文化広播新聞出版局と一緒にナシ族の歴史をトンパ絵の形式で作成した。それを各地で展示して、社会効果と経済効果をもたらしている。なお、政府の支持によって、古城の中の店舗を安い家賃で借りている。これらを通じて、トンパ文化を宣伝すると同時に、ビジネスを実施している。玉水寨旅遊集団はトンパ研究院と協力してトンパ基地におけるトンパ文化の保護・伝承活動を行っている。トンパ研究院は取り締まり執行部門と協力してトンパ文化の使用を監督することを政府に提案した。このように、トンパ文化の伝承と観光開発とを両立するため、各政府機関と企業の連携が進められている。

⑤ その他の改善

インタビュー調査とアンケート調査の結果より、麗江においては、観光産業の管理はまだ不足していることがわかった。先に指摘したように、観光客向けの観光商品の値段が高すぎる、不当な価額での販売、タクシーのメーター未使用、「黒ガイド」、「黒観光バス」の横行、など様々の問題がある。これらの問題により、今年のゴールデンウィーク（10月1日～10月7日）の観光ブームが終わった時点で、麗江は国家旅遊局の「ブラックリスト」に入った^{vii}。現在、麗江はそれぞれの問題に対して、具体的な改善措置をしている。また、「麗江古城保護費」に関する検討も多い。無賃入城の観光客も多いし、保護費を払わずに古城に入れる方法を観光客に教えることを通じて利益を上げる当地居民もいる。これは「麗江古城保護費」徴収の目的の宣伝と観光教育が不足しているためと考えられる。それに、麗江古城は入口が多く、城壁がないという特徴があるため、「麗江古城保護費」の徴収方法にはさらなる工夫が必要であると考えられる。また、環境問題も各機関と居民において注目されている。環境は観光地にとって重要な要素であるが、当地居民にとっては一層重要な要素である。観光客と外来企業は麗江の環境を保護する意識が低いという

指摘があった。それに対しての措置も重要であると考えられる。

5. 結語

本研究は現地インタビュー調査と現地アンケート調査の結果から麗江においてトンパ文字の保護・伝承と観光開発の良好な相互影響性を創造するための示唆を見出すことを目的とした。本研究から次のことが明らかとなった。①麗江においては、トンパ文字の保護・伝承と観光開発とは緊密な関係がある。②トンパ文字の保護・伝承と観光開発を両立は発展させることはすべてのステークホルダーの共通の理解といえる。③トンパ文字の保護・伝承と観光開発を両立発展させていくためには、インセンティブ制度、規制措置、産業政策とステークホルダー間の連携などに十分配慮する必要がある。

今後、インタビュー調査やアンケート調査などの現地調査をさらに実施し、無形文化遺産の保護と観光開発を両立発展させるためには、どのような施策を実施すべきかについての考察を一層進めていきたい。

引用文献：

- 1) 中村良平 (2015) 『まちづくり構造改革』、日本加除出版、6-7 頁。

引用サイト：

- 2) 人民政协网「麗江被列入旅游局“黑名单” 最新整改方案出炉」
(http://www.rmzxb.com.cn/sy/jrdt/2015/10/19/599694_1.shtml、2015 年 10 月 30 日参照)。
- 3) 雲南日報网「麗江調整産業結構建成一批“万元田”」
(http://www.yndaily.com/html/2014/yaowenyunnan_0224/2540.html、2015 年 10 月 10 日参照)。

謝辞：本研究を行うにあたり、インタビュー調査にご協力いただいた麗江市教育局、麗江市旅游局、トンパ文化研究院、麗江市古城区文化広播新聞出版局、麗江玉水寨旅遊集団とアンケート調査にご協力いただいた麗江市民族中等專業学校、雲南大学旅遊文化学院、観光産業に勤める事業者の各機関と各団体の皆様のご厚意に深く感謝の意を表します。

付記：本研究は 2015 年 10 月 11 日に北海道北見市において開催された第二回「北海道地域観光学会」で発表したものをまとめたものである。

注：

i 麗江市の観光産業：麗江市は、1990 年代以降に本格的に開発された中国の観光地の中で最も成功した一つといわれている。麗江旧市街は、1996 年に発生した麗江大地震の状況が中国全土に放映されたことや、1997 年に纳西族の文化と共に世界文化遺産に登録されたことによって、中国における観光地の価値づけに大きく成功した。また、2003 年には世界で唯一使用されている象形文字であるトンパ文字が世界非物質文化遺産に登録された。麗江は「地球で最も観光に値するトップ 100 の町」や、国際連合の「世界の都市で最も居住性が優れた町」などと呼ばれている。2012 年には、麗江市古城区の国内外観光客入込み人数は 1,1001.18 万人となり、旅行総収入は 132.88 億元となった。

ii トンパ文化：トンパ文化はトンパ教に由来する命名である。主にトンパ文字・トンパ典籍・トンパ画・トンパ音楽・トンパ舞踊・トンパ祭祀儀式などから合成される。その中で、トンパ文字は、ナシ族特有の象形文字であり、世界唯一の生きている象形文字と言われ 1400 余の字形を有する。幾多の紆余曲折の歴史の中で多くを損失したものの、トンパ文字で作成された古代ナシ族の「百科事典」とも言える宗教典籍「トンパ典籍」が継承されて

おり、それらは 2003 年に UNESCO の世界の記憶事業に登録された。  (私) (愛する)

iii 麗江中等専業学校（中専）：中等専業学校（中専）と言う学校は中国教育部が主管している学校である。中専卒という学歴は、高級中学の卒業学歴と同等レベルと言われている。中専の学歴を取得すると、大学に進学する資格を得ることができる。中専は基本的には卒業後は働くことを前提にしている、就職に必要な能力を育成するカリキュラムが組まれている。中専に属する学校は、日本の産業高校や工業高校と呼ばれている専門高等学校、大学入試資格を卒業すると取得できる専門学校（高等専修学校）をイメージすると分かりやすい。麗江中等専業学校は 2003 年に元麗江農学校、麗江財学校、麗江衛学校三つの学校で合併し成立した学校であり、主に医学部、経済部、農学部と総合学部がある。

iv 雲南大学旅遊文化学院：麗江所在の独立学院である。雲南大学旅遊文化学院は 2002 年に雲南大学によって創立され、2004 年に中国教育部の許可をもらい、独立した民弁独立大学である。中国では、ある地方は、民弁大学が資金不足と運営不善、および教学の質が低下で倒産した教訓から、中国高等教育システムに一種の特殊な私立大学——独立学院を創立した。独立学院は民弁であるが、単なる民弁大学と違って、所謂「公弁＋民助」，「民弁＋公助」で国立大学の校名で学生を募集し、当大学から教学計画，教員派遣，教材教学の管理，教学質の監督などによって，独立財政採算制を導入し，学生と親を喜ばせて人気がある。

v 中村良平（2015）参照されたい。

vi 雲南日報網 (http://www.yndaily.com/html/2014/yaowenyunnan_0224/2540.html) 参照されたい

vii 人民政協網 (http://www.rmzxb.com.cn/sy/jrdt/2015/10/19/599694_1.shtml) 参照されたい

(2015年12月09日受理)